

地域交通・買い物アクセスプロジェクト

～京都府北部における生活者のための多様なモビリティ～

2024年3月1日（金）

学生とともにのぼす京都プロジェクト成果報告会

大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科

指導責任者：野村 実／府内活動地域：京丹後市、舞鶴市

1. プロジェクトの背景と目的

- 地域公共交通の廃止による住民生活の移動手段の問題や、「買い物弱者」問題を背景として、京丹後市を中心に京都府北部でフィールドワークを実施
- 交通政策・共助交通・新たなモビリティ・買い物アクセスの4つのテーマに分かれて、それぞれの課題解決方法を導き出すために活動を実施
- 1年目のプロジェクトとして、まずは京丹後市での課題を知り、取り組む人に話を聞くことに焦点を当てた

金剛バスが廃止、大阪の「生活の足」維持が危機的状況に...
課題に直面する地域の公共交通

2023/12/30 14:00 関西経済

この記事をスクラップする

2023年は、大阪府内でバス路線の廃止が相次いだ。富田林市など南河内地域で路線バスを走らせていた金剛自動車は、12月20日に全路線で運行を取りやめ、一部を自治体や別のバス会社が引き継いだ。阪急バスと京阪バスも、府内の一部路線を廃止。いずれも、運転手不足や利用者の減少が主な理由で、地域の公共交通の維持は大きな課題に直面している。（辰巳隆博）

▶ 「100年に1度」好機の福井で準備大詰め...北陸新幹線延伸まで1か月

■ 「続けられない」



富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村で路線バスを運行してきた金剛自動車（富田林市）は9月11日、バス事業を12月20日で廃止すると発表。白江暢孝社長は翌日の記者会見で、「地域住民のために頑張ってきたが、全路線が赤字で、事業を続けることができなくなった」と説明した。

出典 <https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20231230-OYO1T50005/>



「閉店したら困る…」 “買い物弱者” 都会でも増加

2023年9月26日 19時00分

出典 <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230926/k10014206961000.html>

2. 地域交通・買い物アクセスプロジェクトの活動概要

①交通政策チーム



- ✓ 活動地域：主に京丹後市全域
- ✓ 活動内容：自家用車と公共交通の「共存方法」を考え、定額制（サブスク）の導入を提案した

②共助交通チーム



- ✓ 活動地域：主に丹後町（一部舞鶴市）
- ✓ 活動内容：「ささえ合い交通」はいかにして持続可能になるのか、継続的な調査をもとに考えた

③新モビリティチーム



- ✓ 活動地域：主に峰山・大宮地域（一部舞鶴市）
- ✓ 活動内容：“mobi”がいかにして市民に定着するのか、実際の乗車やヒアリング等をもとに考えた

④買い物アクセスチーム



- ✓ 活動地域：主に大宮町常吉地区
- ✓ 活動内容：「つねよし百貨店」をフィールドに、買い物弱者の多様な側面について考えた

3. 活動を通じた気づき①地域交通・モビリティ編

- 京丹後市には上限200円バスやささえ合い交通、mobiなど多様な移動手段があるが、**公共交通は自家用車に比べて不便**という認識がある
- しかし高齢化の進む京丹後市では**公共交通が「生活者」にとってますます不可欠なもの**に：たとえば、公共交通定額制（サブスク）の導入や、モビリティ・ミックス*の推進も重要になる！

	Standard 3,000円	Student 3,000円	Basic 7,000円	Premium 12,000円	ささえ合い 交通プラン 12,000円	Light (会員資格 のみ) 0円
京都丹後鉄道	○	×	○	○	○	×
丹海バス	○	○	○	○	○	無料チケット 2枚
ささえ合い 交通	×	×	×	×	○	×
mobi	×	○	○	○	○	月1回半額
自家用車	×	×	5%	10%	×	×

(例) 京丹後市における公共交通定額制の提案



*モビリティミックス…地域公共交通に加えて、自家用車も含めた全ての移動手段を組み合わせること。

4. 活動を通じた気づき②買い物アクセス編

➤活動開始当初は買い物弱者 = 高齢者のみというイメージであったが…常吉地区での活動を通じて、子どもたちや若年層もまた「買い物弱者」に含まれるということがわかった

➤「子ども百貨店」のイベント開催を通じて、子どもたちにとってつねよし百貨店は放課後に立ち寄れる場所（ニサードプレイス）で、幅広い年代の住民と交流できる場であることがわかった



京丹後市大宮町常吉地区
の子どもたちの声

必要なものが
必要な時に手
に入らない…

つねよし百貨店に
ないものは遠くま
で買いに行かなけ
ればいけない…



5. 課題解決に向けた「提案・提言」の作成

①「政策研究交流大会」への出場

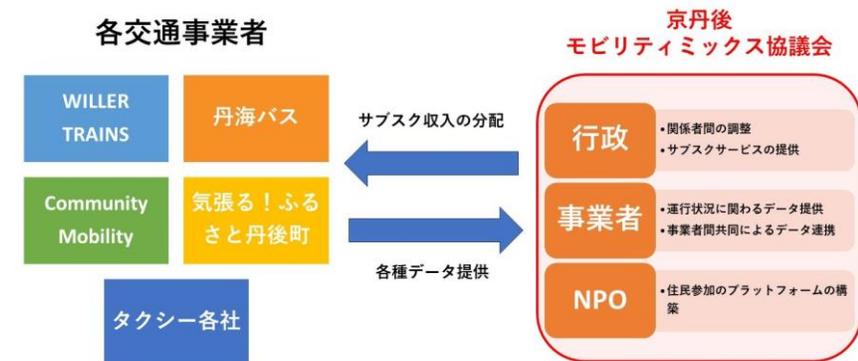
コンソーシアム京都主催の大会に4チームが出場し、テーマに応じた政策提言を作成、発表した



政策研究交流大会での報告の様子

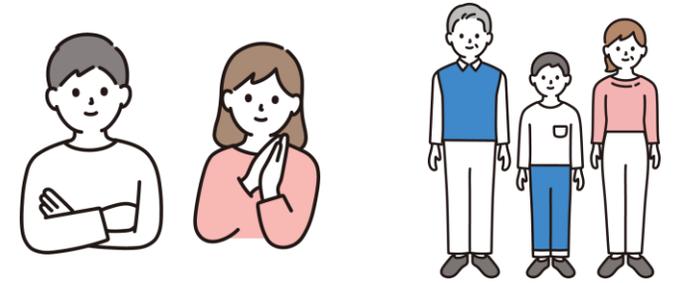
②チーム活動から派生した懸賞論文への応募

プロジェクト学生のうち1名が、活動をもとに懸賞論文*に応募し、「**地方部におけるモビリティミックスの提案**」の題で、**2023年度優秀賞**を受賞



論文内での「モビリティ・ミックス」の提案

6. 活動をふまえた今後の課題



- 1年目の今年度は、地域交通・買い物アクセスに関わる課題を知るため、政策や実践に関わる人々に話を聞いてきたが、**住民の方々の具体的な困りごと**については十分に把握できなかった。
- 今後は、各チームで作り上げた提案・提言を地域の方々と共有しながら、**実際に交通や買い物で困っている方々にも話を聞きながら**、生活者のための多様な移動手段や、買い物アクセス確保に向けた方策について考えていきたい。



ご清聴ありがとうございました！

2024年3月1日（金）

学生とともにのぼす京都プロジェクト成果報告会

大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科

地域交通・買い物アクセスプロジェクト